

「みらいしんきん職域サポート」を 福利厚生にお役立てください

詳しくはみらいしんきんの各支店
もしくは渉外係までお問い合わせください



みらいしんきんでは、お取引先企業の福利厚生に寄与すべく、「みらいしんきん職域サポート」をご提案しています。

ご契約企業にお勤めの従業員さまには、各種相談業務サービスや優遇商品のご提案をさせていただいており、住宅ローンや教育ローンのほか職域サポート先専用のお得な金利のローン商品をはじめ、ご満足いただける商品を各種取りそろえています。

住宅ローンのご相談

自宅（新築・中古）購入、リフォーム、住宅ローンの借換、太陽光発電など住宅に関わるご相談を承ります。

各種ローンのご相談

マイカーローン、フリーローン、教育ローンなど職域サポート専用の、お得な金利のローンをご準備しています。

資産運用のご相談

預金の相談から、退職金の活用方法などお気軽にご相談ください。個別相談も承ります。

年金に関するご相談

年金に関するご相談を承ります。専門家を通じてお手伝いする「年金受取手続サービス」も実施中です。

相続に関するご相談

相続に関するお悩みや心配事が増えている昨今、相続対策や相続に関するサポートを行っています。

保険のご相談

がんや医療保険、保険の見直し等の、各種ご相談を承ります。



プロパティワコー 株式会社

【城東支部会員企業】

代表取締役 齋藤 正浩 氏

本社 大分市下郡南5-2-15

TEL.097-585-5305

URL <https://www.property-wako.com>



アバマンショップ3店舗と本社内の「SUMITAS」は、いずれも明るく洗練された店舗です



大分自動車道・米良ICへ続く沿線に位置する本社



齋藤 正浩 代表取締役

ITツールの導入により、働き方改革と生産性向上を実現

大分市を中心に賃貸仲介・管理のアバマンショップ3店舗と、不動産売買の「SUMITAS」のフランチャイズ事業を手がけるプロパティワコー株式会社。2017年に代表取締役に就任した齋藤正浩氏は、持ち前のリーダーシップと、先見性のある経営手腕を発揮し、今日まで着実に業績を積み上げてきました。慢性的な人手不足に悩む不動産業界ではありますが、齋藤社長は人材確保の手段として、ITツールの導入による働き方改革を断行しました。

「営業部門であれ、管理部門であれ、必要な情報がリアルタイムで集まる仕組みがあれば、様々な局面で正しい判断ができるようになります。デジタル化は客観的な情報を効率的に集約することで働き方改革ができるだけでなく、現場でのトラブル回避につなげたり、所属長が次の戦略を立てるうえでの判断材料にもなります。もうひとつのメリットは、たとえば担当が急病で不在になった時、どう対処すればいいかを解決できるツールになります。要するに、この人がいないと業務が止まってしまう「属人化」に対処でき、部署異動や女性社員の産休時などの引継ぎも容易になりました」

導入ツールのひとつ『カクシンクラウド』は、お客さまの情報を集約し、一元管理を行うことで、売上や進捗情報が把握できるクラウド型賃貸管理CRMシステムです。これまで店舗や部署別にバラバラで管理していた情報を連携させ、可視化できるようになったので顧客管理の円滑化が進みました。さらにそこから次の営業アクションを起こすスピードが早まり、結果的に生産性が劇的に高まったといいます。

このほかにも部屋の修繕工事や入退きの進捗情報をスマホやタブレットで工事会社と共有できる現場管理システム『ANDPAD』、ネットで月極駐車場の管理・契約ができる『Park Direct』といったシステムを導入し、労働効率の改善に貢献しています。

「実は私も含めデジタルが苦手という社員が多かった。ところが、いざ使い始めると飛躍的に出来る仕事が増え、社員のスキルアップにもつながりました。不動産はリピーターが少ない業界ですが、アフター営業や紹介顧客開拓など、ITを活用して一度できたご縁に広がりを持たせていきたい」

プロパティワコーの挑戦は続きます。



大野印刷 株式会社

【山の手支部会員企業】 代表取締役社長 大野 晃史 氏

別府市青山町1-7

TEL.0977-21-0505

URL <https://ohno-print.com>



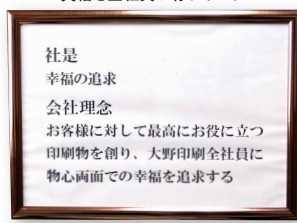
毎朝の朝礼では各自の予定を確認し、緊張感を持って1日がスタートする



ユニバーサルコーディネーターの資格を全社員が有している



大野印刷が力を入れている自分史



社是として「幸福の追求」を掲げている



大野 晃史 代表取締役社長

一致団結した取り組みにより、目指すべき姿を全社員で共有

大野印刷株式会社の5代目代表取締役社長となる大野晃史氏は、大手住宅会社に勤務の後、26歳で同社へ入社し、45歳で代表に就任しました。兄の大野能且氏は取締役会長、弟の大野真平氏は専務取締役として経営に携わり、父親の大野修司氏も同社をバックアップしています。「社長になるまでの15年間、印刷事業に関する学びは当然のことですが、社員とコミュニケーションをとるなかで学ぶことも大きかったです。入社間もない頃、在庫管理に関する新しい提案をしたところベテラン社員と折り合いが悪くなったかと思えば、その後、指導員を交えて5Sに取り組んだところ社内の一体感が生まれたことに、人材育成の在り方を考えさせられました。また、ユニバーサルデザイン事業に全社をあげて取り組んだことも、事業領域の拡大につながりました」

ユニバーサルデザインとは年齢、性別、国籍、障がいの有無に関わらず、誰もが使いやすいデザインや設計のことで、現在のSDGsの目標と合致する部分が多い取り組みです。病院や介護施設、官公庁からの受注が多い同社は、

2014年の大分県経営革新計画の承認を機に、本格的にユニバーサルデザイン事業に着手。まずは大野社長がユニバーサルコーディネーターの資格を取得後、専門家を招いた勉強会を開き、2016年には全社員が資格取得者になりました。

「最初は難色を示していた社員も、いざ勉強会が始まると、新しい学びを得ることに喜びを感じたようです」

社長就任後、大分県中小企業家同友会や盛和塾といった勉強会へ積極的に参加して、経営哲学や人生哲学についての学びを深めています。

「そこから導き出したのが、現在の社是に掲げている『幸福の追求』と、『一致団結、手を取り合って前進しよう』という社訓です。その中には、お客さまに対する心構えと、社員と共有すべき思いが込められています。“共存共栄”を基本に、お客さまも社員も幸せになる会社づくりをしていきたい」

毎朝の朝礼では社員一同で各自の予定を確認し、元氣よく1日が始まります。